

NC-M-T190C  
マルチパワーツール  
T型コネクタ圧縮機

取扱説明書  
(20211209)



このたびは当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。この取扱説明書には、本製品の取扱い方法や、注意事項などが記載されています。ご使用の際は、この取扱説明書を必ずお読みいただき正しくご使用くださいますようお願いいたします。またお読みになった後は、使用者がいつでも見られる所に必ず保管してください。

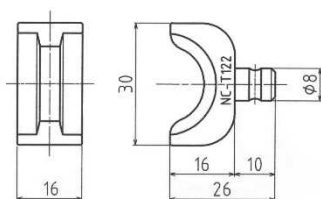
△ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、「△警告」は誤った取扱いをした時に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意、「△注意」は誤った取扱いをした時に、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意として記載しています。なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので必ずお守りください。

## 1 仕様

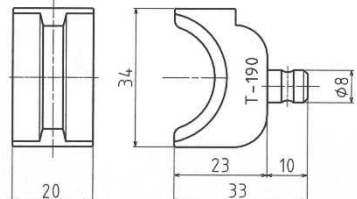
形式	NC-M-T190C
名称	マルチパワーツール T型コネクタ・六角圧縮兼用ヘッド
質量	約2.3 kg (圧縮ダイス、アダプタ含まず)
使用ポンプユニット	NC-E750-8 (アークシー)、NC-E750Li-6 (アール)、NC-E750F-100 (アベル)、NC-E650-DC、NC-E650-AC、NC-M-CL13 シリーズ + 油圧ポンプなど
圧縮能力	T型コネクタ T-20～T-190

### 使用可能ダイス寸法

#### T型コネクタ用

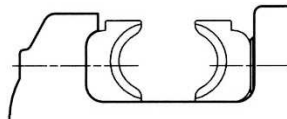
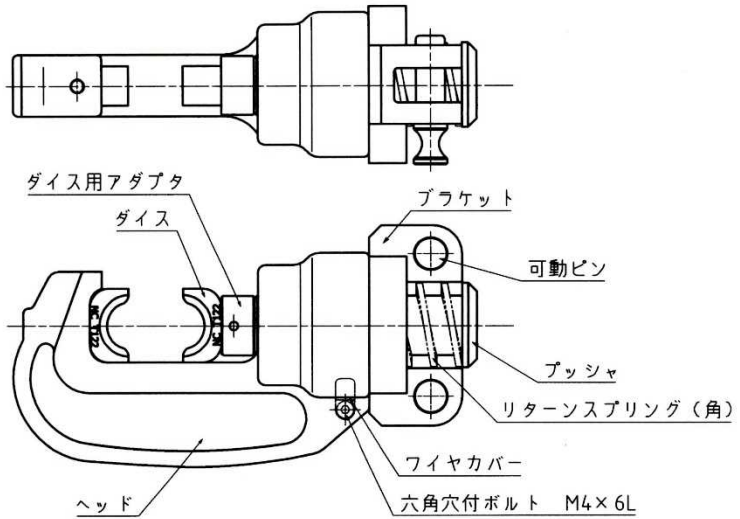


T20 ~ T122

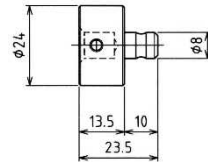


T154 ~ T190

## 2 各部名称



T-190、T-154ダイス取付図  
(ダイス用アダプタは不要)



T-20～T122 ダイス用アダプタ

## 3 ダイスと電線の組合せ

T型コネクタ・電線 組合せ表

分岐線 (mm <sup>2</sup> ) 本線 (mm <sup>2</sup> )	2 (φ1.6)	3.5 (φ2.0)	5.5 (φ2.6)	8	14	22	38	60
14	T-20	T-20	T-20	T-26	T-44	—	—	—
22	T-26	T-26	T-44	T-44	T-44	T-44	—	—
38	T-44	T-44	T-44	T-60	T-60	T-60	T-76	—
60	T-76	T-76	T-76	T-76	T-76	T-98	T-98	T-122
100	T-122	T-122	T-122	T-122	T-122	T-122	T-154	T-190
150	T-154	T-154	T-190	T-190	T-190	T-190	T-190	—

コネクタサイズ	ダイス	適用電線範囲 (mm <sup>2</sup> )	圧縮回数
T-20	T20	14~20	1
T-26	T26	21~26	1
T-44	T44	27~44	1
T-60	T60	45~60	2
T-76	T76	61~76	2
T-98	T98	77~98	2
T-122	T122	99~122	2
T-154	T154	123~154	3
T-190	T190	155~190	3

#### 4 使用上の注意事項

- ⚠ 警告 雨中など、水気の多い場所では使用しないでください。
- ⚠ 警告 当社の承認なしに工具を分解、改造はしないでください。
- ⚠ 警告 工具を落とさないでください。過度の衝撃や落下は、不調の原因になります。特に高所で作業する場合は危険ですので十分な注意が必要です。
- ⚠ 警告 作業する周囲に作業の妨げとなるような危険物、引火物などないか確認してください。
- ⚠ 警告 油圧パワーユニットが作動しているあいだは、手・指などを圧縮ダイスなどの可動部に絶対に近付けないでください。手・指などがはさまれ、切断など重大な傷害を負う可能性がありますので十分に注意して作業を行ってください。
- ⚠ 警告 圧縮ダイス交換の際は油圧パワーユニットの蓄電池を本体から取り外し誤作動をおこさないようにしてから、十分に注意を払い交換するようお願いいたします。

△ 警告 作業者以外は近付かないでください。また作業者も油圧工具の負荷方向側には立たないようにしてください。ヘッドを人のいる方向に向けての使用は絶対にしないでください。

△ 注意 運転を始める前に次のような不具合点がないか工具を点検してください。

- ・油圧工具本体および油圧パワーユニット周辺に油漏れ、油のにじみがないか？
- ・油圧工具本体に圧縮ダイスの破損、ガタつき、各部分の取付け部のボルト、ピンにゆるみがないか？
- ・圧縮ダイスの取付けにゆるみはないか？

△ 注意 作業中になんらかの異常が発生した場合はただちに運転を中止し、点検を行なうようお願いいたします。

その他の注意事項として添付の「安全に関するご注意」に記載されていますのでご使用前に必ずお読みいただき、正しくお使いください。

## 5 取扱い方法

① 本機を油圧パワーユニットに取付けてください。

- ・油圧パワーユニットのラムが後端位置まで戻っているか確認してください。
- ・本機のフレームを油圧パワーユニットのブラケットに差し込み2本の可動ピンを奥まで差し込んでください。



△ 注意 2本の可動ピンで確実に固定してください。ピンが奥まで差し込まれていない状態で使用すると本体の損傷や、事故の原因になります。

- ・本機のプッシャを油圧パワーユニットのラムの先端に奥まで差し込んでください。

② コネクタ（圧縮端子）に適合するダイスを選定してください。

⚠注意 間違ったサイズのダイスや、異なるサイズのダイスを組合せて使用すると接続不良やダイス損傷の原因となります。2～3ページの「T型コネクタ・電線 組合せ表」を確認してダイスを選定してください。

1) ダイスの取付け

コネクタ（圧縮端子）に適合するダイスを選定し、ダイスを本機ヘッド及びラム（又はアダプタ）に最後まで押込んで確実に取付けてください。

T20～T122 のダイスを取り付けるときは、アダプタをラム側に取り付けてください。



T154、T190 のダイスを取り付けるときは、アダプタは不要です。



### ③ 作業の手順

1) 被覆を剥いた電線と圧縮するT型コネクタを準備してください。

2) T型コネクタはサイズにより、圧縮する回数が異なりますので注意してください。圧縮回数が1回の場合はT型コネクタの中心、2回、3回の場合はT型コネクタに圧縮する個所がラインで示されていますので、その位置にダイスが当たるようにしてください。T型コネクタの圧縮位置を決めてからポンプユニットのスイッチを押しラムを少しずつ前進させてください。T型コネクタが軽く固定されるまでラムを前進させT型コネクタを仮押しして止めてください。



3) T型コネクタの中に圧縮する2本の電線を入れてください。電線は圧縮した時に、はみ出てこないようにT型コネクタに収めてください。



4) 圧縮作業前にもう一度、T型コネクタの圧縮する位置が問題ないか確認してください。

5) 油圧ポンプユニットのスイッチを押し圧縮してください。スイッチを押し続けると『ポン』という作業完了確認音がしますので音がしたらスイッチをはなしてください。



⚠ 警告 油圧ポンプユニットが作動しているあいだは、手・指などを圧縮ダイスなどの可動部に絶対に近付けないでください。手・指などがはさまれ、切断など重大な傷害を負う可能性がありますので十分に注意して作業を行なってください。

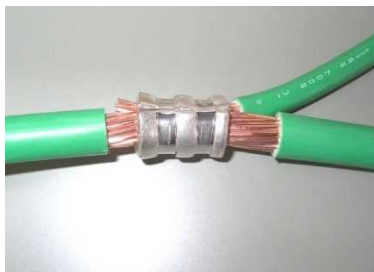
⚠ 注意 油圧ポンプユニットのグリップ底穴をふさぐと作業完了確認音が小さくなるので、ふさがないようにご注意ください。

- 6) 油圧パワーユニットの戻しレバーを押してラムを戻します。複数回圧縮する時はT型コネクタの圧縮位置を決めポンプのスイッチを押し圧縮してください。圧縮作業が終了したら圧縮したコネクタと電線を取り出してください。

#### 2回圧縮の場合



1回目の圧縮完了



2回目の圧縮完了

#### 3回圧縮の場合



1回目の圧縮完了



3回目の圧縮完了



速度が遅くなったり、圧縮力が弱くなったりしたと思われる時は、蓄電池の残量が少なくなっていると考えられますので、蓄電池を充電して下さい。

△警告 作業中は、工具本体に顔を近づけてのぞき込んだり、手や指を近づけたりしないでください。ダイス、工具が破損した場合、飛散するおそれがありますので十分に注意してください。また、作業中は工具を人のいる方向に向けしないでください。

△注意 工具の取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分に注意して慎重に作業してください。非常識な行動をすると事故やけがの原因となります。

△注意 作業中は工具の動作に注意し、異常がないか確認しながら作業を行なってください。異常と思われる場合はただちに作業を中止し、各部の点検を行なってください。

△注意 ダイスの取付け、取外しの際は、指などを負傷するおそれがありますので、手袋などを着用しケガのないように注意して作業を行なってください。

△警告 この工具はT型コネクタの専用圧縮機です。指定されたコネクタ以外のものを圧縮すると、過大な荷重がかかりヘッドやブラケットが破損する原因となるだけでなく、使用者あるいは近辺にいる人が死亡または重傷を負う可能性が想定されます。仕様に記載されたT型コネクタ以外のもの、あるいはT型コネクタ・電線の組合せ表に記載された電線の組合せ以外で圧縮しないでください。

## 6 保守、点検、保管

- ① ご使用前には必ず各部の点検を行ない、異常がないことを確認してからご使用ください。
- ② ご使用後は必ず本体の汚れを落とし、防錆油などをウエスにしみこませ本体の表面をふいてください。特に摺動部分のプッシュ、圧縮ダイスの側面などに泥、ゴミなどが付着していないか確認し、いつもきれいにふいておいてください。
- ③ 保管の際は、次のような場所には保管しないように注意してください。
  - ・直射日光があたったり、雨や雪がかかったりするところ。
  - ・高温、多湿、粉塵が多いところ。
  - ・本体を置いた時倒れたり、滑って落下したりするような不安定なところ。
  - ・お子様の手がとどくところ。

## 7 保証期間、アフターサービス

- ・保証期間はご購入日より6ヶ月間です。ただし圧縮ダイスは保証対象外部品となります。
- ・故障、修理、部品のお求め、その他のお問い合わせはご購入いただいた販売店、または当社営業部までご連絡ください。

**[MEMO]**

NC-油圧式作業工具総合メーカー  
**株式会社西田製作所**

本社・工場 〒612-8247 京都市伏見区横大路下三栖南郷 21  
TEL 075-611-1136 FAX 075-611-4167

HPアドレス : <http://www.nishida-mfg.co.jp>  
メールアドレス : [yuatsu@nishida-mfg.co.jp](mailto:yuatsu@nishida-mfg.co.jp)